



使う前に

ここから、端末を使った学習がはじまります。

ここでは、端末を上手に使うために知っておくべきことや気を付けること、トラブルが起きた場合の対応について学びます。

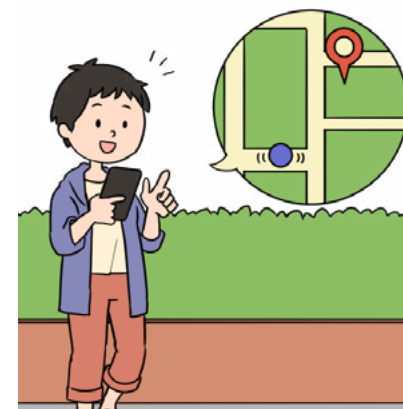
最初にチェックしてみよう

- ☐ 私は、どのようなWEBアプリやクラウドサービスがあるのかを知っていると思う
- ☐ 私は、AIが得意なことや苦手なことを知っていると思う
- ☐ 私は、端末を使った時に起こる危険性について知っていると思う
- ☐ 私は、友達からの信用を失う行動に気をつけていると思う
- ☐ 私は、トラブルが起きてしまったときに適切に対応することができると思う
- ☐ 私は、闇バイトに関わってしまったときに、適切に相談することができると思う

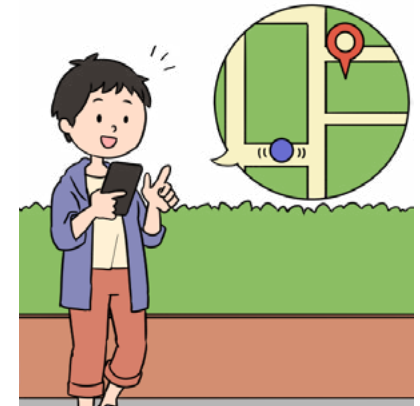
端末を使った学習ではWEBアプリやクラウドサービスを利用することがあります。

WEBアプリやクラウドサービスでは、ネット（ブラウザ）さえ使える環境があれば、どの端末でも同じアプリやサービスを利用することが可能になります。

皆さんの端末で使うアプリやサービスで、WEBアプリやクラウドサービスを利用していると思うものを見つけてみましょう。



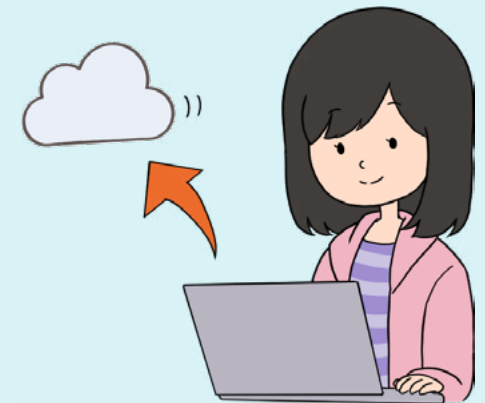
見つけたもの



スキルのポイント

例えば、WEBアプリやクラウドサービスを使うと、それぞれの人の端末からネットを通じてファイルにアクセスし、共同で編集することができます。また、ネット上の問題に答えると、先生がすぐにその人を判別して採点することもできます。

こうしたWEBアプリやクラウドサービスはとても便利ですが、自分の個人情報をきちんと管理したり、セキュリティに気をつけたりしながら使うことが重要になります。



次の4つの内容を、「AIが得意そう」と「AIが得意ではなさそう」なものにわけてみましょう。



AIが得意そう

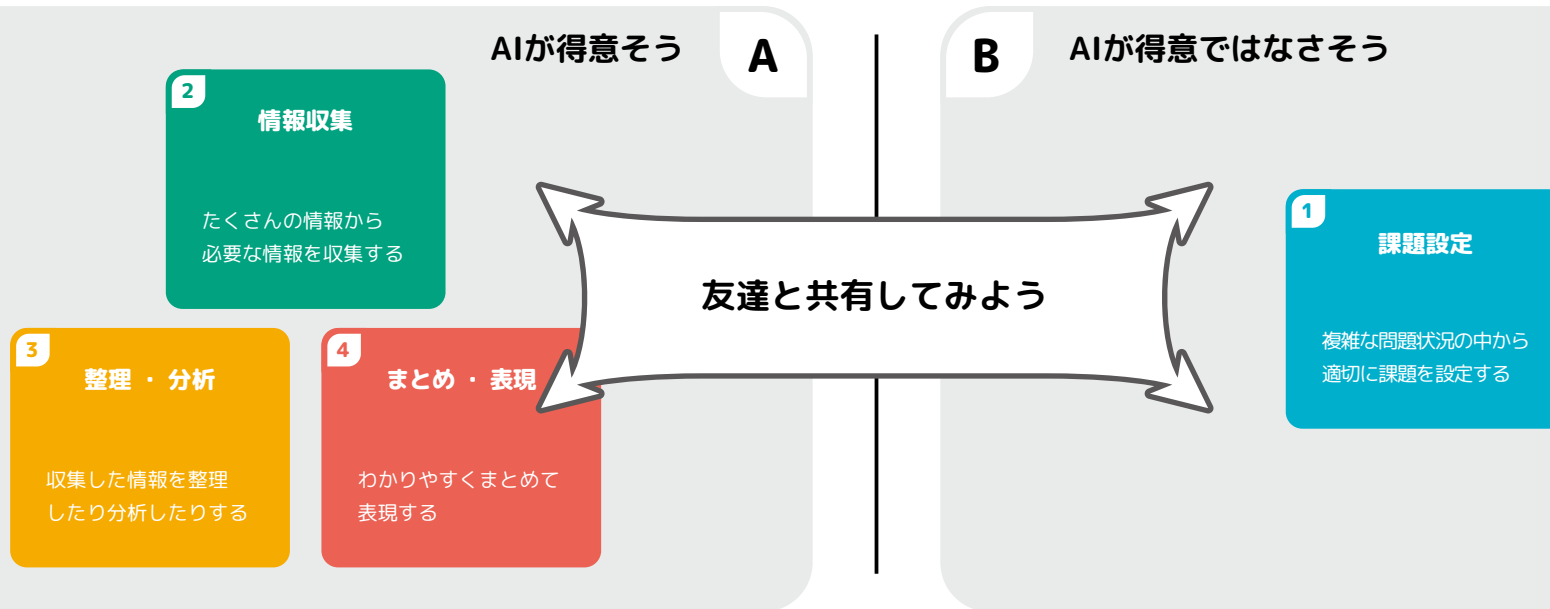
A

B

AIが得意ではなさそう



例



★ スキルのポイント

現在のAIでは、たくさんの情報を収集したり、それらを分析して、特徴を見つけだしたりすることを得意としています。また、それらをわかりやすくまとめたり、画像や映像で表現することも得意としています。

では、苦手としているのは为什么呢。

それは、何を分析するかを設定することです。課題や問いを設定する力こそ、これから求められてくる力になるでしょう。



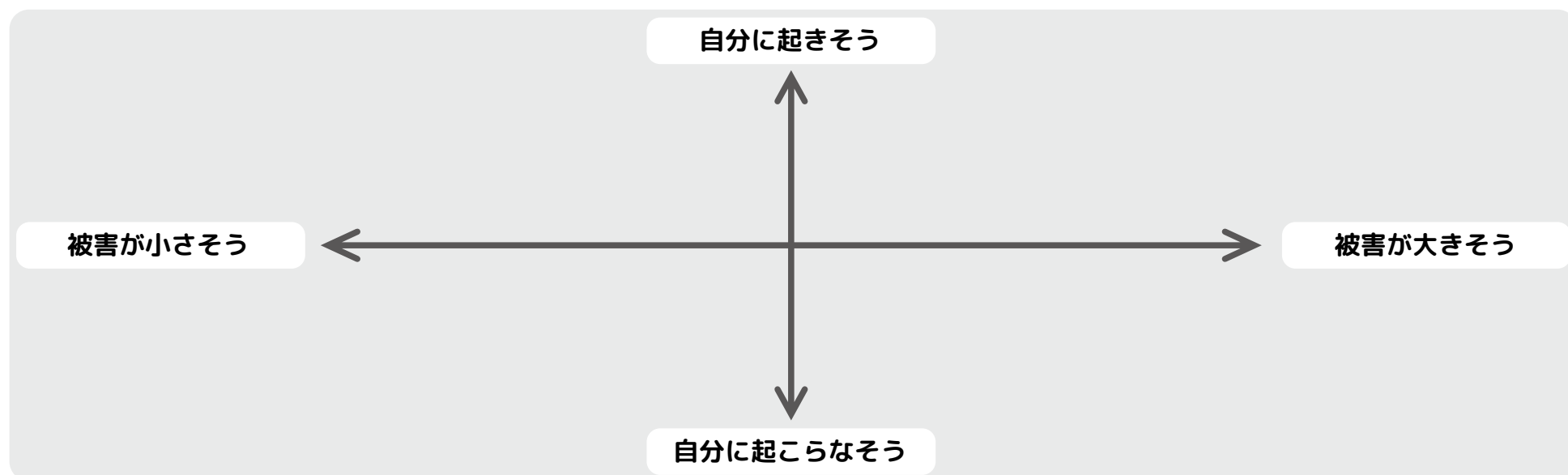
リスクマネジメントを身に付けよう

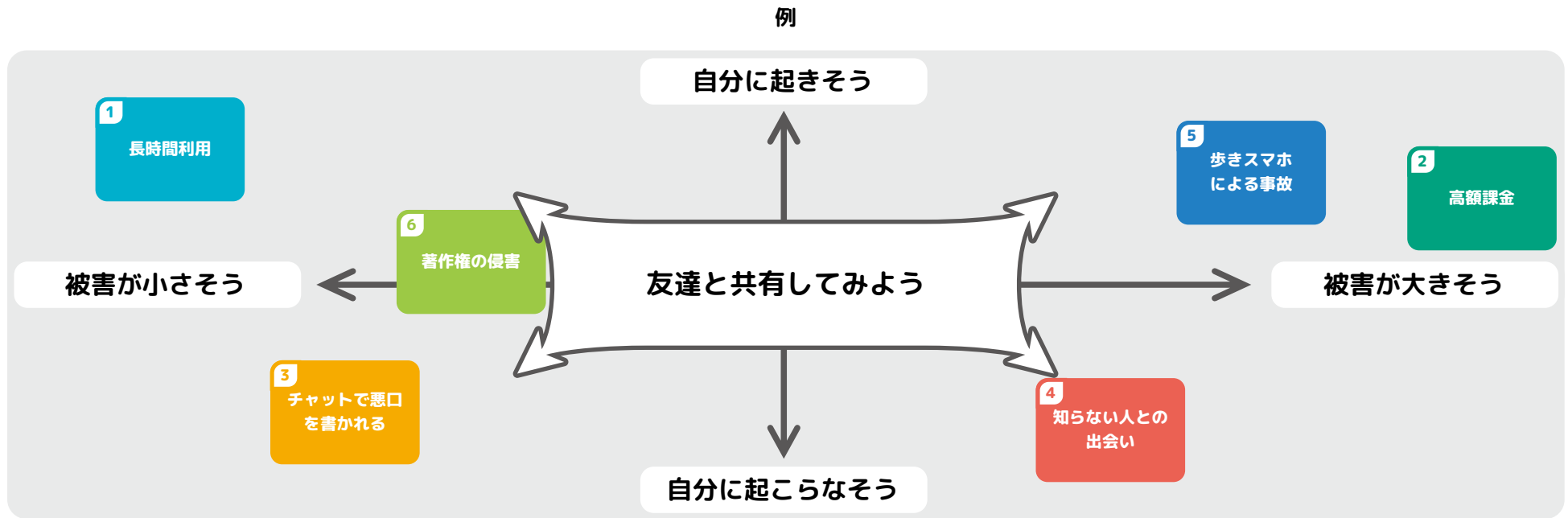
端末を使うことで様々な便利さがある一方で、リスク（危険性）も存在します。

リスクは、危険の「発生確率」と危険が起きたときの「被害度」で考えます。そのリスクを適切に見極め、対処することを「リスクマネジメント」と言います。

次の内容について、皆さん自身に起きそうな確率と起きた場合の被害度で分類してみましょう。

- 1 長時間利用
- 2 高額課金
- 3 チャットで悪口を書かれる
- 4 知らない人との出会い
- 5 歩きスマホによる事故
- 6 著作権の侵害

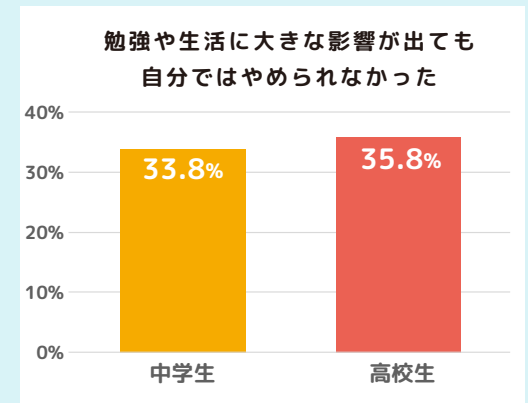




★ スキルのポイント

リスク（危険性）を考えるときは、「どのくらい起きそうかな？」と「起きた時にどのくらいの被害があるかな？」を考えることがリスクマネジメントの基本になります。特に、自分に起きそうで、被害が大きそうなリスクを優先して対策を考えてみましょう。

なお、比較的多くの人に該当するのは「長時間利用」です。調査では、「スマホやネットを使って勉強や生活に大きな影響が出て自分ではやめられなかった」と回答した中学生が33.8%、高校生が35.8%いました。



信用を失う時ってどんな時？

次のうち、もっとも「信用を失うだろうな」と思う行動を1つ選んでみましょう。

1 ☐

友達のタブレットを勝手に使っていた

2 ☐

有名なYouTuberと知り合いだとウソをついていた

3 ☐

グループ活動で「調べとくね」と言ったけど、やってこなかった

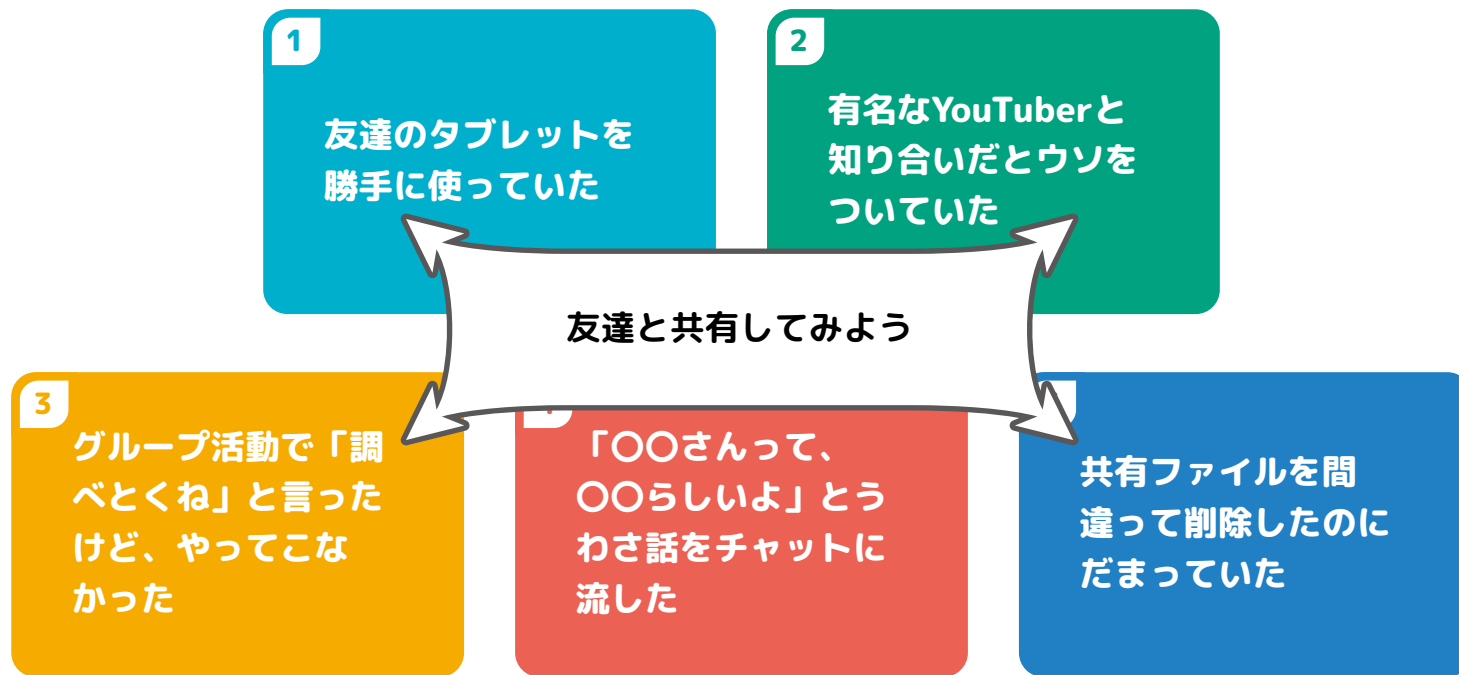
4 ☐

「〇〇さんって、〇〇らしいよ」とうわさ話をチャットに流した

5 ☐

共有ファイルを間違えて削除したのにだまっていた





★ スキルのポイント

コツコツと積み上げた信用を、ちょっとした行動ですぐに失ってしまうことがあります。

特に、「自分は気にしないから大丈夫だろう」と思っている、相手はそう思わない場合もあります。

勝手に人のものを使ったり、ウソをついたり、約束を守らなかったり、不誠実な行動をとったりして、相手の信用を失わないように気をつけましょう。

クライシスマネジメントを身に付けよう

リスクマネジメントでは「トラブルが起きる前にどのように防止するか」が重要ですが、「トラブルが起きてしまった後にどのように対応すればよいか」を考えることも重要であり、これを「クライシス（危機）マネジメント（管理）」と言います。

次の内容について、トラブルが起きた時に自分が適切に対応できるかどうか考え、分けてみましょう。

1

勝手に自分の写真
がWEBに掲載され
た

2

SNSで知らない人
からイヤなことを
書かれた

3

WEBを見ていた
ら、お金を請求す
るサイトが突然開
いた

4

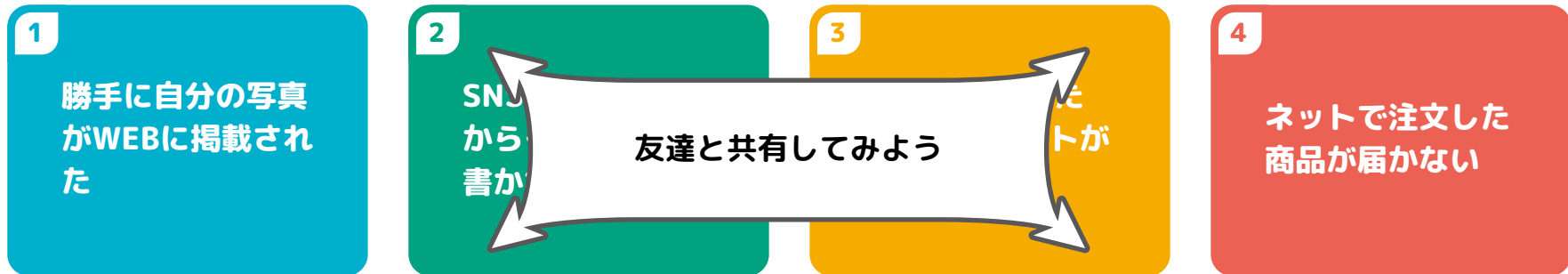
ネットで注文した
商品が届かない

適切に対応できる

A

B

対応の仕方がわからない



スキルのポイント

- ①勝手に自分の情報が掲載された場合には、その状況を記録・保存し、管理者に削除依頼を行います。
- ②知らない人からのメッセージは、その人をブロックし、メッセージを見えないようにしておきます。
- ③「〇〇円をお支払いください」などの表示が出た場合は、やみくもにクリックせず、WEBサイトを閉じます。
- ④商品が届かない場合は、事業者連絡し、悪質な場合は消費生活センターや警察に相談します。

もちろん、これらの対応はケースバイケースですが、基本的な対応を考えておきましょう。また、困った時は保護者の方や学校の先生に相談しましょう。

次の3つの状況で、自分だったら誰に相談するか、1つずつ選んでみましょう。

仲の良い先輩から

「荷物を受け取るだけで10万円もらえるバイトがあるけど、やらないか？」
と紹介された。

「やるなら、この匿名アプリで連絡して」
と言われて、匿名アプリを入れて連絡した。



	相談 しない	友達	家族	先生	警察
A 「バイトに身分証が必要だから生徒証を送って」と言われて、生徒証の写真を匿名アプリで送ったが、これは闇バイトかも？ と心配になった。	☐	☐	☐	☐	☐
B 「〇〇駅で荷物を受け取って」と言われて、これは闇バイトではないかと思い、やめたいことを伝えたら、「簡単だし、みんなやっているから大丈夫だよ」と言われた。	☐	☐	☐	☐	☐
C 荷物を受け取ったら、中身がキャッシュカードだったので、これは闇バイトだと思い、「もうやめる」と伝えて帰宅したら、「あなたの学校におしかける」とおどされた。	☐	☐	☐	☐	☐



	相談 しない	友達	家族	先生	警察
A 「バイトに身分証が必要だから生徒証を送って」と言われて、生徒証の写真を匿名アプリで送ったが、これは闇バイトかも？ と心配になった。	☐	☐	☐	☐	☐
B 「〇〇駅で荷物を受け取って」と言われてトではないかと思い、やめたいことだし、みんなやっているから大丈夫だ」と言われた。		☐	☐	☐	☐
C 荷物を受け取ったら、中身がキャッシュカードだったので、これは闇バイトだと思い、「もうやめる」と伝えて帰宅したら、「あなたの学校におしかける」とおどされた。	☐	☐	☐	☐	☐

友達と共有してみよう

★ スキルのポイント

「簡単なバイトでたくさんのお金をもらえる」などと言われて、軽い気持ちでやってしまうと、闇バイトを抜け出すことができないという事態になってしまうことがあります。

特に、「匿名アプリ」「荷物を受け取るだけ」などのキーワードには注意が必要です。

「おかしいな」と思ったら、すぐに大人に相談するとともに、おどされたら必ず警察に相談してください。



使う前に

まとめ

よき使い手になるために

端末は、使おうと思えば、学習のためだけでなく、遊びにも使えてしまいます。
端末を学習や生活で上手に使うための方法とリスクへの対応を学び、有効に活用しましょう。

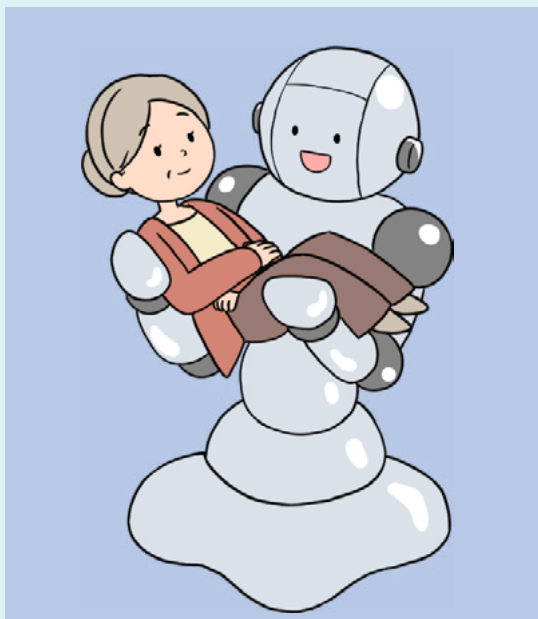
チェックしてみよう

- ☐ 私は、どのようなWEBアプリやクラウドサービスがあるのかを説明することができる
- ☐ 私は、AIが得意なことや苦手なことを説明することができる
- ☐ 私は、端末を使った学習で起こる危険性について説明することができる
- ☐ 私は、友達からの信用を失う行動に気をつけることができる
- ☐ 私は、トラブルが起きてしまったときに適切に対応することができる
- ☐ 私は、闇バイトに関わってしまったときに、適切に相談することができる



使う前に

情報技術 × 社会問題



現在、日本や世界では、気候問題、食糧問題、エネルギー問題、医療問題、労働問題、教育問題、多様性の問題、自然災害など様々な社会的な問題が存在します。

このような社会問題について、情報技術を用いて解決していこうという試みが行われています。

調べてみよう

現在、情報技術で社会問題を解決しようとする試みには、どのようなモノがあるだろうか？

話し合ってみよう

今後、どのような情報技術で、どのような社会問題を解決できる可能性があるだろうか？